



震源域: 青方形枠(推本), 赤・青楕円(津波堆積物による想定可能)

奥尻・日本海中部・庄内沖・佐渡沖 9C.10C.津波波源・震源域想定

波源・震源域	時期	キー地点
北海道南西沖+	11~12C. ?	松前半島
1993		
日本海中部	1000年前頃	西津軽
1983		
1833庄内沖+:	9C.?	飛島, 男鹿
(佐渡海嶺? 男鹿~飛島断層帯?)		(隆起の検討)
佐渡北方沖?	10~11C?	飛島~佐渡
		未発生

津波堆積物調査による検討課題:
同規模の津波(奥尻, 他の領域でも想定可能?)
AD/BCころ
3ka ころ
それ以前 ~6000年前頃まで

日本海東縁の津波

1. 奥尻島, 津軽沖, 庄内沖飛島周辺、佐渡島:
いずれも1000年程度の再来間隔, 周期性
2. 1900年 (1833)年(中盤)以降に集中.
9~11世紀にも集中か.
佐渡北方沖海嶺は10~11C.以降空白か?
AD/BC頃は? それ以前は? (cf. 奥尻と佐渡の津波履歴)
3. 地震領域: “固有地震”の考え方でよいのか,
より大きな波源域・震源域はあったか?
震源・波源域の位置, 発生領域区分について要検討
北海道北西(利尻)沖, 能登半島より西は
津波堆積物調査・資料が著しく不足.

津軽, 男鹿, 飛島, 粟島: 隆起ベンチ, 隆起ビーチの調査, 研究も重要